

令和8年度 守谷市の全国学力・学習状況調査結果について

守谷市教育委員会

今年度も守谷市の子供たちは
全国・茨城県の平均正答率を上回る好成績を収めました。

- ◆ 調査実施日：令和8年4月23日(木)
- ◆ 調査対象：市内公立全小・中学校（小学校9校・中学校4校 計13校）
小学6年生(668人) 中学3年生(569人)
- ◆ 調査内容：① 教科に関する調査 小学校：国語、算数
中学校：国語、数学、英語
② 生活習慣や学習環境に関する質問調査

調査問題内容

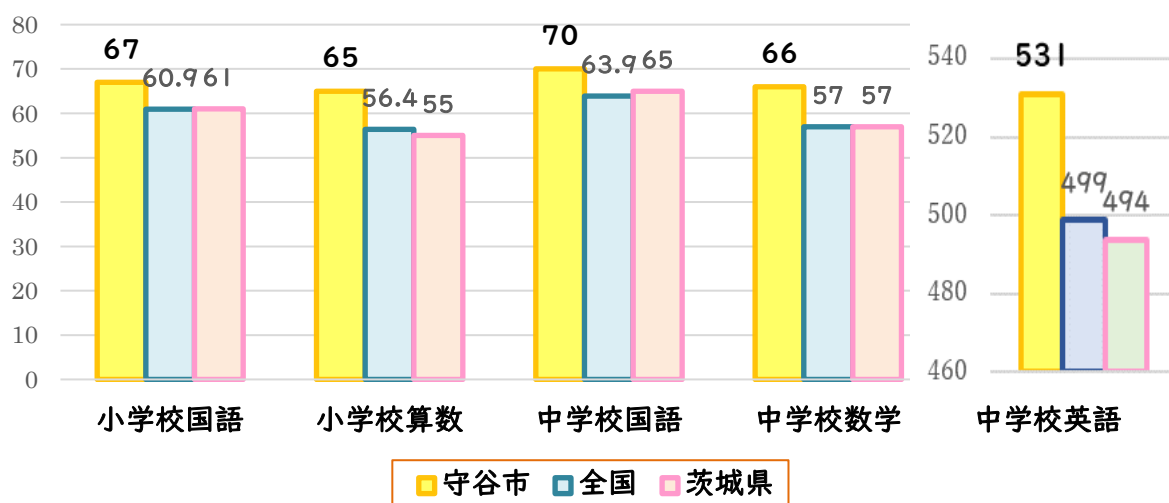


I 教科に関する調査

(I) 守谷市と茨城県、全国の平均正答率(%) ※中学校英語はIRTスコア

	小学校(6年生)		中学校(3年生)		
	国語	算数	国語	数学	英語※
守谷市	67	65	70	66	531
全国	60.9	56.4	63.9	57.0	499
茨城県	61.0	55.0	65.0	57.0	494
全国との比較	+6.1	+8.6	+6.1	+9.0	+32
県との比較	+6.0	+10.0	+5.0	+9.0	+37

令和8年度全国学力・学習状況調査 市・全国・県平均正答率(%) ※中学校英語はIRTスコア



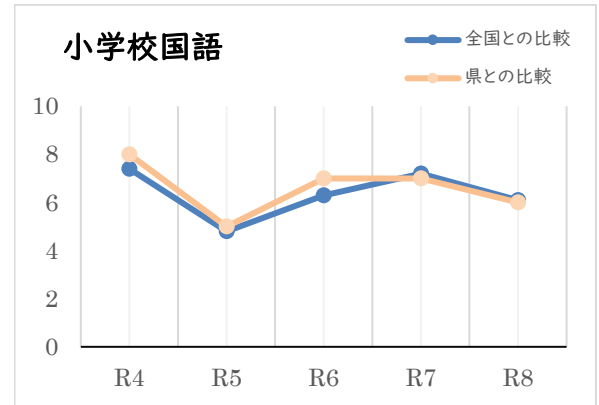
IRT：項目反応理論。児童生徒の正答・誤答が、問題の特性によるのか、学力によるのかを区別して分析し、学力スコアを推定する統計理論。

IRTスコア：IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すもの。

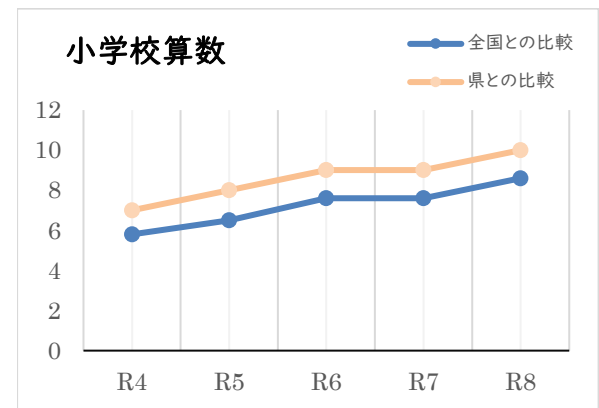
※文科省・国立教育政策研究所「用語説明」参照

(2) 国語及び算数・数学の平均正答率(%)の推移

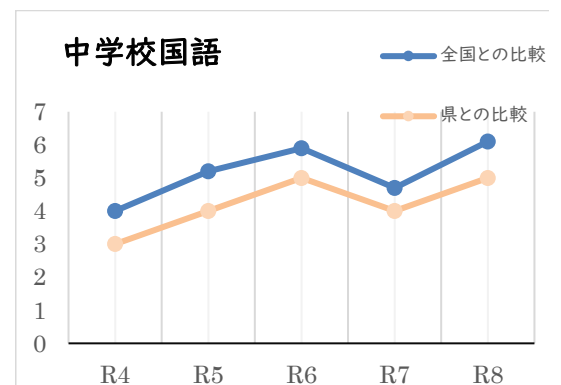
小学校国語	R4	R5	R6	R7	R8
守谷市	73	72	74	74	67
全 国	65.6	67.2	67.7	66.8	60.9
茨城県	65	67	67	67	61.0
全国との比較	+7.4	+4.8	+6.3	+7.2	+6.1
県との比較	+8	+5	+7	+7	+6



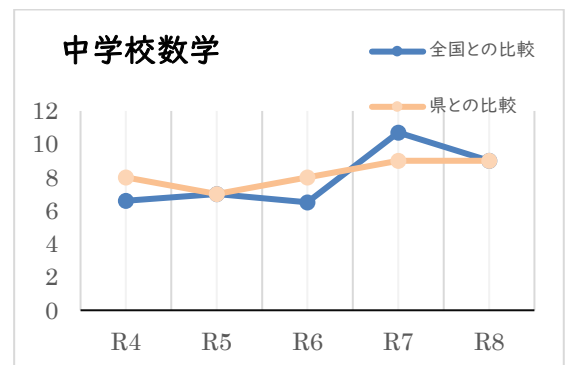
小学校算数	R4	R5	R6	R7	R8
守谷市	69	69	71	64	65
全 国	63.2	62.5	63.4	58.0	56.4
茨城県	62	61	62	57	55.0
全国との比較	+5.8	+6.5	+7.6	+7.6	+8.6
県との比較	+7	+8	+9	+9	+10



中学校国語	R4	R5	R6	R7	R8
守谷市	73	75	64	59	70
全 国	69.0	69.8	58.1	54.3	63.9
茨城県	70	71	59	55	65.0
全国との比較	+4	+5.2	+5.9	+4.7	+6.1
県との比較	+3	+4	+5	+4	+5



中学校数学	R4	R5	R6	R7	R8
守谷市	58	58	59	59	66
全 国	51.4	51	52.5	48.3	57.0
茨城県	50	51	51	50	57.0
全国との比較	+6.6	+7	+6.5	+10.7	+9
県との比較	+8	+7	+8	+9	+9



(3) 教科に関する結果分析(概要)

国語、算数・数学、英語の各設問共に 全国、茨城県の平均正答率を大きく上回る結果となりました。

① 小学校 国語

※ 数字は正答率(%)

◆ 成果

※[]内は問題番号

		守谷市	全国	茨城県
資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する力	【話すこと・聞くこと】[1二(2)]	74.9	63.2	64.4
比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる力	【言葉の特徴や使い方】[1二(3)]	76.0	65.2	68.4

◆ 課題

考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解する力	【情報の扱い方】[2二]	55.1	48.9	50.3
学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力	【言葉の特徴や使い方】[2三イ]	33.5	45.2	36.3

◇ さらに力を伸ばすために

【先生方へ】

情報の関係性について理解させるには、「なぜなら」「例えば」などの接続語に着目させたり、ワークシートなどで「考え」と「事例」を色分け・構造化して可視化したりする指導が効果的です。また漢字指導では、形式的に覚えさせるだけでなく、「学んだ漢字を使って短文を作成する活動」を授業内で取り入れ、文脈の中で正しく使う定着を図ることが大切です。

【児童の皆さんへ】

文章を読むときは、「一番伝えたいこと(考え)」と「それを説明する言葉(理由や具体例)」がどこにあるかを意識してみましょう。「なぜなら」や「例えば」といった言葉に注目すると、文章の組み立てがよく分かるようになります。また、新しく習った漢字はドリルで練習するだけでなく、実際に使って文章を書いてみるのが大切です。正しい意味や使い方を身に付け、言葉の力をどんどん伸ばしていきましょう。

② 小学校 算数

◆ 成果

※[]内は問題番号

		守谷市	全国	茨城県
直方体の箱の形を構成する面についての理解	【図形】[1(2)]	73.0	63.0	62.0
単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉える力	【数と計算】[3(4)]	78.7	68.1	67.6

◆ 課題

単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から2つの広場のどちらの方が混んでいるかを判断する力	【変化と関係】[2(3)]	40.5	36.1	34.5
二次元の表から、条件に合う数を読み取る力	【データの活用】[4(3)]	25.2	17.9	16.0

◇ さらに力を伸ばすために

【先生方へ】

単位量当たりでは、図や数直線を用いて「1 当たり」の量は何を意味しているのかを視覚的に捉えさせる指導が効果的です。また、二次元の表では、「行」と「列」が交差する位置の意味を丁寧に確認する活動や、複数の条件を整理しながら表を読み解く場面や表を実際に作成する場面を意識的に取り入れることが必要です。

【児童の皆さんへ】

どちらが混んでいるかを比べるときは、計算をして出た答えが「1 当たり(例えば 1 m²当たり)」の何を表しているのかを考えるのが大切です。数直線や図を描いてイメージしながら、答えの意味を確かめてみましょう。また、たとえ横の項目がある表を読むときは、今探している条件が「どの行と列の重なる場所にあるか」を確かめましょう。条件を一つ一つ整理しながら、表から情報を読み取る習慣をつけましょう。

③ 中学校 国語

◆ 成果

※[]内は問題番号

		守谷市	全国	茨城県
必要に応じて質問しながら話の内容を捉える力	【話すこと・聞くこと】[2二]	79.6	70.4	72.5
互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる力	【話すこと・聞くこと】[2四]	64.9	52.7	56.6

◆ 課題

語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉える力	【言葉の特徴や使い方】[4二]	38.1	35.2	33.3
文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする力	【読むこと】[4四]	46.7	38.9	37.5

◇ さらに力を伸ばすために

【先生方へ】

文脈上の意味を捉えさせるには、「別の言葉に言い換えるとどうなるか」を確認させたり、文脈による意味の違いを比較させたりする活動が効果的です。また、「筆者の考えやその根拠」と「自分の考え」を分けて整理するワークシートを活用することで、文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにさせることが重要です。

【生徒の皆さんへ】

文章の中の言葉を、辞書通りの意味だけで判断せず、「どのような文脈で使われているか」を意識して読んだり、分からない語句は前後関係から意味を推測したりすることも大切です。また、文章を読む学習では、ただ内容を追うだけでなく、「筆者の考えの根拠はどこか」「筆者の考えに対して自分はどうか考えるか」を自分の言葉で整理するなど、根拠と自分の考えを結びつけることで自分の考えを確かなものにすることができます。

④ 中学校 数学

◆ 成果

※[]内は問題番号

		守谷市	全国	茨城県
反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、 x の値に対応する y の値を求める力	【関数】[4]	71.0	55.3	58.3
起こり得る場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求める力	【データの活用】[5]	74.0	60.2	59.4

◆ 課題

具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだす力	【図形】[8(3)]	43.6	37.1	35.8
累積度数の意味の理解	【データの活用】[9(1)]	47.3	46.0	43.4

◇ さらに力を伸ばすために

【先生方へ】

証明の指導では、すぐに記号などを用いて仮定と結論を書かせるのではなく、「分かっていること(条件)」と「確かめたいこと」を図に書き込んだり言葉で整理させたりする活動を取り入れましょう。また、データの活用では、単に累積度数を計算させるだけでなく、累積度数を用いてデータから読み取れる情報や傾向を分析し、説明し合う場面を設けることが効果的です。

【生徒の皆さんへ】

図形の証明問題に取り組むときは、解き始める前に「問題文や図から何が分かっているのか」を整理する習慣をつけましょう。図に同じ長さや等しい角を書き込み、前提条件を視覚的に確かめながら進めることが大切です。また、累積度数とは「最初の階級からその階級までの度数を合計したもの」を表しています。「ある値より小さい(または大きい)データが全部でどれくらいあるか」を意識しながら、表やグラフを読み解く練習をしてみましょう。

⑤ 中学校 英語 ※公開問題(全16問)のうち、全員が取り組む問題(全7問)での分析

◆ 成果

※[]内は問題番号

		守谷市	全国	茨城県
音声や語彙、表現、文法、言葉の働きなどの知識を、読むことによるコミュニケーションにおいて活用する力	【読むこと】[6]	75.9	67.3	66.6
音声や語彙、表現、文法、言葉の働きなどの知識を、書くことによるコミュニケーションにおいて活用する力	【書くこと】[11①]	72.2	58.9	53.8

◆ 課題

音声や語彙、表現、文法、言葉の働きなどの知識を、聞くことによるコミュニケーションにおいて活用する力	【聞くこと】[1]	62.4	60.2	58.0
社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えその理由を書く力	【書くこと】[10(2)]	34.6	27.8	26.7

◇ さらに力を伸ばすために

【先生方へ】

聞くことによるコミュニケーションでの活用を図る指導では、学習者用デジタル教科書を活用し、「目的や場面、状況を意識して聞き取る活動」を意識的に設定することが重要です。また、相手の意見に対する自分の考えを書く指導では、「相手(書き手/話し手)の考えを理解した上で、自分(読み手/聞き手)の考えを伝える言語活動」において以下を押さえて指導しましょう。

① 相手(書き手/話し手)の主張・結論(最も伝えたいこと)を正確に捉えること。【内容理解・インプット】

例:ワークシートなどに相手の主張とその理由、根拠を整理する。

② 自分(読み手/聞き手)の主張(最も伝えたいこと)を的確に表現すること。【表現・アウトプット】

例:論理的な思考を促す文章構成(主張・結論+根拠+理由)を押さえて表現する。

【生徒の皆さんへ】

英語を聞くときは、知っている単語や文法が「実際の会話や音声でどのように発音され、使われているか」を意識して聞き、真似して発音してみましょう。学習者用デジタル教科書で、繰り返し聞いたり、速度を落として聞いたりするなど自分のペースで学習すると効果的です。内容を聞き取る際には、特定の情報のみではなく、前後の情報も合わせて判断することが大切です。また、英文を読み、相手の意見に対する自分の考えを書くときは、まず「相手が一番伝えたいことやその理由」を正しく読み取ることが大切です。次に、自分の立場(賛成・反対など)を決め、「なぜそう思うのか」という理由が自分の立場としっかりつながっているかを確認し、問題文の中にある言葉や表現も参考にしながら、相手に伝わる理由を英語で分かりやすく書く練習をしましょう。

2 児童生徒質問紙調査

(1) 教科に関する結果

※「当てはまる・どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合(%)

質 問	国語の勉強は好き		国語の授業内容はよく分かる		国語の学習は将来に役立つ	
校 種	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
守谷市	57.0	46.6	85.0	75.3	91.0	87.0
全 国	57.4	57.2	81.5	76.8	90.4	88.2
茨城県	57.9	58.6	81.9	79.4	91.3	89.2

質 問	算数・数学の勉強は好き		算数・数学の授業内容はよく分かる		算数・数学の学習は将来に役立つ	
校 種	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
守谷市	58.9	59.7	80.8	81.7	92.3	79.8
全 国	57.6	56.1	77.5	74.2	91.0	76.5
茨城県	58.0	57.4	78.0	74.6	91.5	78.6

質 問	英語の勉強は好き		英語の授業の内容はよく分かる		将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業についたりしたい	
校 種	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
守谷市	71.7	42.4	※設問なし	65.4	46.2	35.7
全 国	66.7	51.2		64.2	45.4	34.1
茨城県	67.5	52.0		65.9	47.2	36.1

(2) 学習状況に関する結果

①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する学習状況

質 問 ※「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合(%)	小学校			中学校		
	守谷市	全国	茨城県	守谷市	全国	茨城県
5年生まで[1、2年生のとき]に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	76.9	77.6	79.2	79.1	78.8	79.4
5年生まで[1、2年生のとき]に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	73.3	73.4	74.4	73.1	70.8	71.9
学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。	87.0	85.7	86.3	89.5	87.0	87.4
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	77.1	78.4	79.9	82.1	79.0	80.5

② 個別最適な学び(個に応じた指導)・協働的な学びに関する学習状況

質 問 ※「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合(%)	小学校			中学校		
	守谷市	全国	茨城県	守谷市	全国	茨城県
5年生まで[1、2年生のとき]に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	80.7	80.8	80.8	80.9	78.9	78.7
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力し合いながら課題の解決に取り組んでいますか	91.4	91.4	91.8	93.1	92.4	93.1

③ ICTを活用した学習状況

質 問	小学校			中学校		
	守谷市	全国	茨城県	守谷市	全国	茨城県
5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか ※ 「ほぼ毎日」、「週3回以上」と回答した割合（％）	77.8	68.8	68.5	94.2	78.2	85.8
5年生まで〔1、2年生のとき〕の学習の中でのPC・タブレットなどのICT機器活用について、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか ※ 「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合（％）						
○文書を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができる	82.7	79.1	79.4	90.0	84.8	86.5
○インターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができる	87.8	84.9	85.5	93.3	90.9	91.8
○情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができる	75.5	69.5	70.6	77.5	69.4	72.0
○学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができる	75.2	74.6	78.0	83.8	80.0	82.7